



# ほけんだより

23年度2月号  
明照保育園



## 【子どもの健康状態】

1月中は、幼児さんからインフルエンザが流行し、発熱でお休みする子が多くいました。2月に入り星組さんと雪組さんにインフルエンザでお休みする子が増えましたが、現在は落ち着いてきています。嘔吐・下痢の報告が出始めていますので注意して下さい。感染症の報告として、水ぼうそう（4人）・溶連菌感染症（1人）がありました。まだまだ寒い日もあり、空気の乾燥による呼吸器の病気も心配されます。再度、手洗い・うがいを生活習慣にとりいれましょう。

## 【ぎょう虫卵検査結果と駆除・予防について】



前検の1/26（木）と1/27（金）では、提出日へのご協力ありがとうございました。前検の結果が出てあゆみノートにはさんでありますので見て下さい。今回ぎょう虫卵が検出された子はいませんでしたので駆除については省略します。未提出の子にはお知らせしてありますので、必ず後検で提出してください。

☆ 後検・・・前検で配布した検査用紙をなくされた方は早めにお知らせください（検査用紙代を頂くこともあります）。その際、必ず袋にクラス・番号・名前を明記して下さい。 → 3/5（月）のみの提出

ぎょう虫症の予防法 ” みんなでぎょう虫をやっつけよう！！ ”

1. 爪を噛んだりしない。
2. 爪はのばしたままにせず、こまめに切る。
3. 肛門のあたりを直接掻いたりしない。
4. トイレの後、食事や調理の前などには、手をよく洗う。

## 【流行性嘔吐下痢症とは】

突然の嘔吐、続いて下痢（クリーム色、乳幼児は白色の便になることもある）になります。熱が出ることもあり、ウイルスによる腸管感染がほとんどです。主として経口感染ですが、飛沫感染による場合もあると考えられています。



\*治療\* この病気には水分補給が必要ですが、糖分の多いジュースや、牛乳は下痢を悪化させます。薄めたお茶やお湯などを飲ませましょう。下痢のため、おしりはただれや

すくなっています。オムツを交換するときは、おしりをお湯で洗い、軽く拭き取ります。交換後は必ず石けんで手を洗いましょう。

\*こんな時はすぐ病院へ\* 一日中吐き続けたり、顔色が悪い、唇が乾いている、おしっこが少ないときは、早めに医師の診断を受けましょう。特に口の中をのぞき込んだ時、ツバが糸を引くような状態なら、すでに軽い脱水が起きているので、必ず病院を受診しましょう。

## 冬場に注意したい 感染性胃腸炎(おう吐下痢症)

**原因** 冬に流行するウイルス性の胃腸炎で、原因となるウイルスには、ロタウイルス、ノロウイルスなどがあります。



**症状** 突然のおう吐からはじまり、その後下痢の症状があらわれます。発熱する場合があります。ロタウイルスの場合は、便が白っぽくなる場合があります。

家庭でのケア



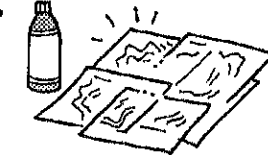
下痢やおう吐などの症状が見られる間は、園を休みます。激しい下痢やおう吐が続くと脱水症状を起こしやすいので、小児用イオン飲料などで水分補給をきちんとしましょう。ようすをみて病院を受診します。

## おう吐物の処理について

感染力が強いのでおう吐物の処理には、十分注意しましょう。



使い捨て手袋とペーパータオルなどを使い、ふき取り、ビニール袋に入れます。袋内には塩素系漂白剤をペーパータオルなどにしみ込む程度入れて処分します。



おう吐物がついた床は、塩素系漂白剤などをしみ込ませた布などで覆い、10分程度おいたら、水ぶきします。



すべての処理が終わったら、手洗いを十分に行います。その際、使用した手袋はおう吐物を処理した時と同様に処分します。

## 【おわりに】



お遊戯会のこの時期に流行が心配されるインフルエンザは今現在落ち着いてきていますが、うがい・手洗い、早起き早寝に心がけ、万全な態勢で遊戯会にのぞみたいですね！！

